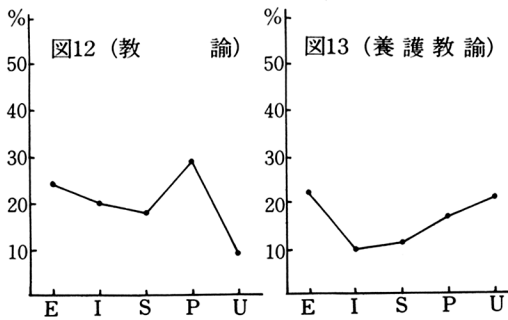
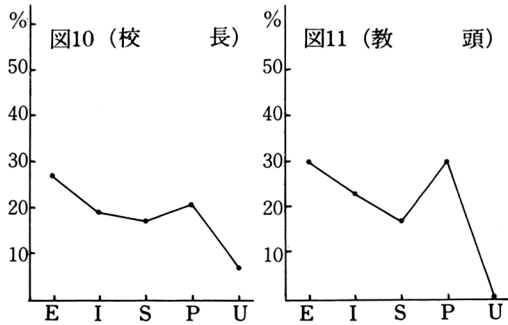


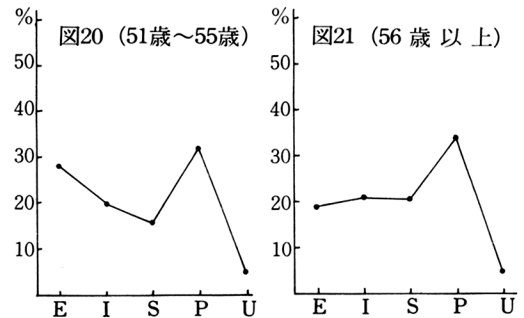
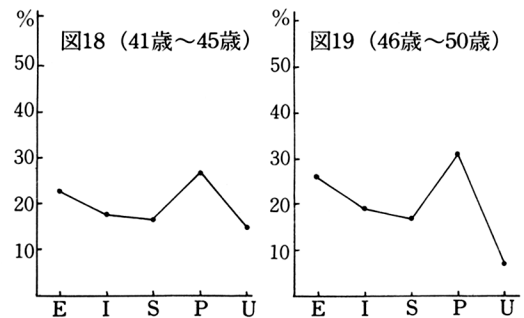
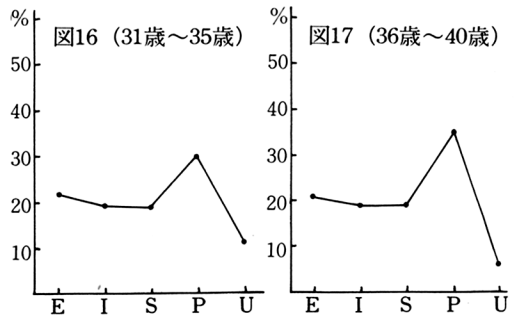
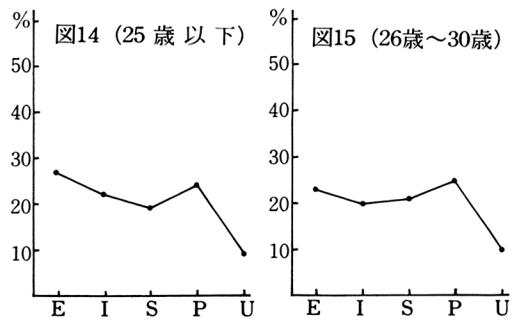
最近の中学校や高校の保健室は、カウンセリング・ルーム化しているといわれる。このような観点からも、養護教諭の評価的態度は、さらに低いものにして行く必要がある（他の教職に比して低いが、養護教諭のプロフィールの中ではやはり評価的態度が最も高い。）



③ カウンセラー・テストの年齢別傾向分析について

図14から図21までは、年齢別に見たカウンセリング態度の図表である。これらの表を年代別に概観し、その特徴と考察を下記してみる。

- イ. 25歳以下の図表については、評価的態度が最も高い点が異なる。
- ロ. 26～30歳のプロフィールは、理解的態度を除いて最も平板になっている。
- ハ. 14から15・16・17と年齢が高くなるにつれて診断的傾向が強くなり、36歳～40歳で最高になっている。



以上の特質をよりよくとらえるために評価的態度と理解的態度を、年齢別の推移がわかるように図示してみた。図22がそれである。